

住民協議会だより

おのえ

第15号

おのえ住民協議会 <小野江町396番地 TEL 0598-56-7506 (午前中のみ)> 2017. 8. 1

平成29年度おのえ住民協議会「総会」と新役員紹介



3月26日に小野江コミュニティセンターにおいて、平成29年度おのえ住民協議会『総会』が行われました。

今年度の表彰者は、池田萌朱那さん(当時小野江小学校6年生)でした。松阪市教育委員会主催の『松阪市図書館を使った調べる学習コンクール』において最優秀賞を受賞するなど、教育・文化面で地域に貢献していただいたことから、表彰をさせていただきました。

その後、平成29年度事業計画等の議案審議等が行われ、滞りなく終了しました。

また今年度から新役員に代わりましたので、よろしくお願いたします。

小野江小学校区住民の皆さまには、今年度も引き続き、ご支援・ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。



たくさんの皆さまに、ご協力をいただき、5年目を迎えることになりました。

今年は、初めての70歳となり、本人は10才でも、20才でも若い感覚を持って、皆さまと話し合えるよう、心がけているつもりです。よろしくお願いたします。

会長 山中和儀

☆新役員紹介☆

会長	山中 和儀
副会長	伊藤 雅和
役員	青木 てる代(部会長)
役員	田中 勲(部会長)
役員	萩原 廣(部会長)
会計	奥田 信幸
書記(代行)	萩野 香恵

女性である私に部会長をやり切る自信はありませんが、引き受けた以上は頑張っ、皆さまと一緒に、安全、安心な住みよい環境づくりに一歩でも近づけるよう働きたいと思つています。ご協力よろしくお願いたします。

安全安心部会 部会長 青木てる代

平成29年度 事業計画

安全安心部会

○おのえクリーン作戦 5月21日(終了)

健康福祉部会

○たなばたまつり 7月7日(終了)

○おのえ健康ウォーキング 9月24日(日)



9月広報の差し込みチラシをご覧ください。

ふれあい部会

○ふれあいファーム 通年



住民協議会全体事業

○家庭菜園 9月ごろ、「しらすの苗」を配布予定。お楽しみに(o^-^o)

○減災訓練 10月21日(土)

昨年度に引き続き、応急手当法・搬送法・炊き出しに今年度は、渡り板の設置訓練・被災者救助訓練をやります!

○交通安全啓発運動 奇数月に1回、住協の委員が行っています!

○地域計画実行事業 『あいさつ運動』

小野江小学校4,5,6年生に夏休みの課題として啓発ポスターに取り組んでもらっています。選考作品は、小野江小学校区内に掲示し、明るく、元気なおのえのまちにしていくことを推進しています。

○おのえきずなまつり 9月17日(土)

出演団体は、『桐の花』に子ども琴・キッズヒップホップ・『みんなでコーラス』・『豊美台』の皆さまで、昨年好評だった『響座』の太鼓演奏があります。

9月広報の差し込みチラシをご覧ください。

○補助協賛事業

- ・防犯灯補助
- ・公民館活動の協賛
- ・小野江地区ふれあいフェスタ協賛
- ・武四郎まつり協賛
- ・福祉活動への参画

完歩賞

おのえ地区住民健康づくりの一環として実施した「H28年度ファミリー健康ウォーキング」に、以下の方がたが達成されました。おめでとうございます!

飯田 秀さま 伊豆川 政夫さま 小林 富士雄さま



おのえクリーン作戦 5月20日(土)

今年も、みくもクリーン作戦と平行して、小野江小学校区の通学路内の清掃活動を実施した。午前9時から10時までの約1時間、総勢302人の方がたに、参加をしていただいた。

各自治会はそれぞれの地域を、自治会長の号令で、清掃活動を行った。また、小野江小学校4年生の児童と保護者は、地域の諸団体と協力して行った。小野江小学校南広場に集合して、開会式を実施、会長の挨拶の後、児童と同行者との挨拶を各グループごと実施し、特に行動(移動)上の注意事項を達した後、通学路を主に清掃して、一件の事故もなく無事終了し、閉会式において、学校を代表して校長のあいさつがあり、終了した。

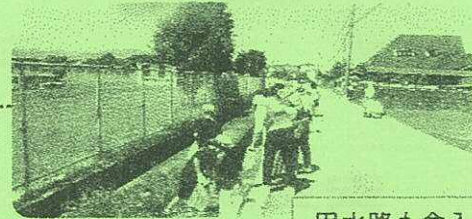
ほとんどのゴミは大人が捨てたものが多いと感じる。特にタバコの吸殻とペットボトル等は、我々大人がお互いに気をつけることでなくすことができる。児童たちが、気持ちよく通学でき、元気に行動できる“おのえ地域”にしていきたい。

【安全安心部会 副会長 野崎 裕】



開会式

リヤカーでゴミ集め



用水路も念入りに



☆七夕まつり 7月7日☆

『小野江神社』では、今年も子どもたち手作りの“ちょうちん”が出迎えてくれました。先へ進むと“炙りもろこし”香ばしいにおいが漂い、食欲をそそられました。

今年は昨年より200本増やし、500本のとうもろこしが、瞬く間に売れていきました。

綿菓子にも長蛇の列で、子どもたちが嬉しそうに待っていました。今年は、赤や黄色の“カラー綿菓子”を配布し、大人気でした。地元産とれたて野菜の『農産物直売所』、今年は配布チラシにラッキーナンバーくじをのせ、当たった方には野菜をプレゼントしました。

また、「フラダンス」や「大正琴」、今年は「みんなでコーラス」の皆さんによる発表もあり、会場を盛り上げていただきました。

およそ、1,000人以上の方がたにご来場いただいたかと思います。

ありがとうございました。また来年、お楽しみに！



炙りもろこし

はじめての七夕

甚目町の方からいただいた七夕の思い出☆☆

この7月で1歳になる娘が、生まれて初めての七夕を迎えました。

おじいちゃんが切ってきてくれた立派な笹には、おばあちゃんたち手作りの素敵な飾りつけが楽しそうにユラユラ揺れています。にぎやかな笹を見て、娘も興味津々！早速、生まれて初めてクレパスを握り、短冊に何やら点々と描き、ご満悦でした。

そして迎えた笹流しの日。娘はパパに抱かれ、風に揺れる七夕飾りを見つめて嬉しそうにニコニコ。子どもなりに名残惜しいのか、飾りに手を伸ばしていました。川面を流れるすず風を少し感じながら、子どもの健やかな成長を願って流した笹。夏の一夜の思い出でした。

また、昨年の短冊には、この子が元気に生まれてくるようにと書いたことを思い出し、家族皆で過ごせる幸せを改めて感じた七夕でした。

甚目町在住 「ひかり」のママより



家庭菜園

ブロッコリーとキャベツ収穫

真弓さんが育てたブロッコリー



昨年度2回にわたり、苗を配布し、うれしい報告がありましたので、紹介します！ブロッコリー苗は、甚目町にお住いの真弓さんが育ててくれました。野菜鉢で培養土に牛ふんや油かす、化学肥料を混ぜ、立派なブロッコリーができましたよと、素敵な笑顔で話してくださいました。

また、舞出町にお住いの鈴木さんは、知り合いの子どもたちといっしょに大切に育て、本当に立派なキャベツができ、喜びのコメントもいただきましたので、紹介します。

広報で1軒に5本、キャベツ苗の配布の記事を見て、さっそく申し込みました。

一つのうねに、小6の周くん家、小1のめいちゃん家、ばあちゃん家のと、自分たちで植えました。作り方のプリントもいただき、ちょうちよが入らないようにあみもはって、こえもやりました。

小さな苗が、次に見に行くと大きくなっていて夏になったら、きゅうにまた大きくなって、売っているのと同じ様になりました。

周くんのが1番大きいとか、めいちゃんのは一つだけ小さいのができたとか、とてもたのしいです。

また、野菜の苗を配布してください。



大きなキャベツと鈴木さんと子どもたち😊

減災コラム その4

備えあれば、憂いなし



日本における救急車の平均到着時間は約6分です。しかし呼吸停止からの蘇生率は、2分で約90%、4分で約50%、6分ではわずか10%と、蘇生の確率が低くなってしまいます。このことから災害時に限らず、日常でも応急手当を取得しておく必要があるのです。もちろん災害時に救急車は、すぐには来れないでしょう。しかも大都市であっても、数万人に1台の救急車というのが現実です。災害時に救急車が来る確率は非常に低いのです。家族を守るためにも応急手当を習得しておくことが非常に大事なことです。子どもには子どもの応急手当があり、心臓マッサージなども方法や回数が成人と異なりますので、これも知っておかなければなりません。自分は応急手当を習得しているが、しかし、家族で応急手当を知っている者がいなければ、自分が患者になったとき、いったい誰が、応急手当をしてくれるのでしょうか。

私の友人が、3年前の5月に心不全で亡くなりました。お通夜葬儀に参加をして、ご子息のお話によると、父(友人)が入浴後、体を拭いているときに倒れたが、母はただ気持ちが動転して、父を見ているだけで何もできなかったとのことである。もし自分が一緒に生活していたら、父に蘇生処置ができていたのではないかと、涙ながらに話をされていた。

しかし、誰も、大事な家族がそのような状況になったら、応急手当、特に、心肺蘇生をできるだろうか。最初に書いたように、心臓が停止している場合は、救急車を呼ぶと同時に、まず1秒でも早く心臓マッサージをし、救急車(医師)が来るまで継続しておくことが蘇生の第一歩である。

【おのえ住民協議会 安全推進委員 野崎 裕】